

奈良県立五條高等学校 令和元年度 学校運営協議会 全日制部会（第1回）

1 日 時 令和元年6月21日（金）13時30分～15時00分

2 場 所 奈良県立五條高等学校 小会議室

3 参加者 （委員）竹花博文、宮倉靖幸、下村卓、中井基雄（校長）  
（事務局）山内雅雄（教頭）、芝野恵一（事務長）、  
左川正太郎（教務部長）、吉村典久（進路指導部長）、  
奥村洋（生徒指導部長）、澤 一彦（広報企画部長）

4 内 容

(1) 挨拶・日程説明

(2) 委員紹介

(3) 授業参観（1年Bルーム、2年Bルーム、3年Bルーム）

(4) 協議

○ 教頭から次の3点について説明を行う。

- ・ まなびの森コース保護者及び生徒向けアンケート調査の実施について
- ・ 『まなび』NEXT10プラン～「まなび」で拓くあなたの未来～（原案）の概要について
- ・ 五條高等学校の今後の取り組みについて

○ 質疑応答

（質問）

まなびの森コースの1年生は明確な目標をもっているか。

（回答）

特色選抜で20名が出願し、残りの生徒は二次選抜等で合格していることを考えれば若干の不安があるので、入学後、目標をもたすべく取り組んでいる。

（意見）

目標がないと学ぶ意欲をもちにくい。社会人講師を活用するなどして、生徒には進路選択の様々な道があることを示してほしい。

（意見）

まなびの森コースの改革プランの熱のこもった説明に感銘を受けた。目指す力をつける取り組みは素晴らしい。ただ、進路の実績も大切であるので、対応できる授業内容にしていきたい。

（回答）

週4日7限授業のため、他のクラスより週4時間多い。他のクラスと同じ授業時間数においては、きちんと基礎基本の学習を行い、他のクラスより多い授業時間において、発展的な授業の時間として活用する案を考えている。また、御意見のあった社会人講師の活用も進めていきたい。実際、本校では挨拶や礼儀を大切にしており、地域や進路先から高評価を得ているが、それ以外でも、社会で必要な力について、アドバイスをいただきたい。

（意見）

我が社の従業員を見ていると、必要なことは学んで来ていると感じる。

（意見）

まなびの森コースのプランは素晴らしいが、実践をともなってこそ生かされる。「絵に描いた餅」にならないようにしてほしい。また、これからはICTを駆使できる力も求められる。そういった力もつけてほしい。

五條の地域には、様々な分野で活躍している素晴らしい人材がたくさんいる。本校の卒業生に

もすごい方が多い。そういった方々の話を聞く機会があればよい。

(回答)

本校には真面目な生徒が多いが、貪欲さに欠ける面もある。そのような生徒には、外部の方からの刺激で殻を突き破ってほしいと願っている。

(意見)

個人的にはやはり進学実績が大事だと考えている。有名大学の指定校枠があれば親としても魅力がある学校になる。確かに、一般入試は生徒を成長させるため、できるだけ受けさせるべきだと思うが、生徒の向き不向きを見極め、必要であれば推薦での入学も支援してほしい。

一般入試に挑戦させる場合は、まなびの森コースで行っている習熟度別授業で手厚く指導し、力を伸ばしてほしい。

(回答)

確かに、推薦を希望する生徒が多いが、力のある生徒には一般入試まで粘る意欲をもたせたい。そのためにも、生徒募集の際に、方針等を周知する必要がある。今回のまなびの森コースの改革案については、今年度中にリーフレットを作成し、中学校等に配布する予定である。

(意見)

塾にも宣伝が必要である。まなびの森コースで行っている7限授業は生徒にとって大変であるが、やっただけのことは自分に返ってくるという実感をもたせ、意欲を高める工夫をお願いしたい。

(回答)

塾にも取組をアナウンスする機会を設けているが、今後更に一層重視していきたい。そのためにも今回の改革を進めていきたい。

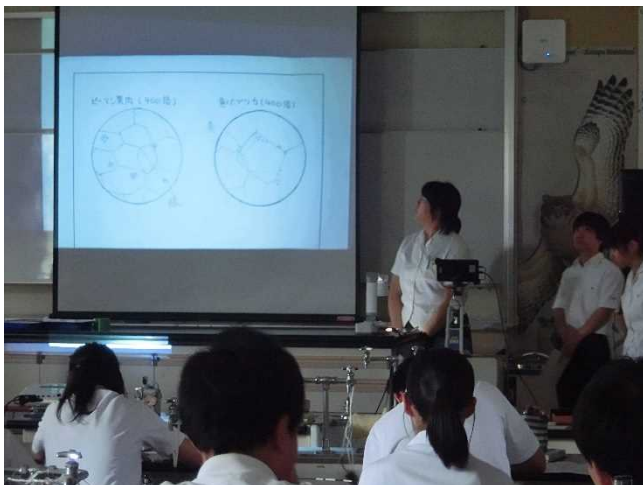
## 5 連絡事項・挨拶

- ・ 本年度の予定について（全日制関係分）

6月21日(金) 第1回全日制部会

10月17日(木) 第2回全日制部会

3月3日(火) 第2回学校運営協議会



授業参観（生徒によるプレゼンテーション）



協議の様子